

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	フィールガーデン南千里((仮称)吹田)	階数	地上11F 地下1F
建設地	吹田市千里山西6丁目1585番1の一	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、第二種	平均居住人員	642 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2016年3月20日
敷地面積	8,089 m <sup>2</sup>	作成者	浅井謙建築研究所 矢野
建築面積	2,498 m <sup>2</sup>	確認日	2016年3月20日
延床面積	19,315 m <sup>2</sup>	確認者	浅井謙建築研究所 鶴田



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 元々の敷地の高低差を生かした建物計画とし、樹木を多く配置した。建物を後退し豊かな空間を創出し周辺環境の向上を目指した。さらに各設備等を考慮し、環境負荷軽減への取り組みを目指した。		工事中の騒音、振動を見える化するために騒音振動計を設置した。
<b>Q1 室内環境</b> ペアガラス、エコジョーズ、節水型の便器、水栓をを採用し、環境負荷の軽減を目標とした。	<b>Q2 サービス性能</b> 幅広いニーズに応えられるような様々な間取りの住戸を設けた。住環境の向上のため、天井高も2.45m確保し、極力採光面を大きく取った。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地の緑化率を25%以上確保した。住民参加型の植栽計画(果樹園、ハーブ園)とした。
<b>LR1 エネルギー</b> 住宅性能評価省エネルギー等級4の取得を目指した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> トイレにリサイクル認定品を使用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地境界から約10m後退して建物を計画している。提供公園を設けた。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0129

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

<b>【建物概要】</b>	建物名称	フィールガーデン南千里((仮称)吹田市千里山西6丁目PRJ)					
	建設地	吹田市千里山西6丁目1585番1の一部、281番4					
	用途/区分	集合住宅					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					4	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					対象外	

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
項目		評価内容		
項目		スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体 3.0 住戸・宿泊 5.0	4
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.3	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.4	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目		評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
その他				
先進的技術の導入		技術の名称	考慮事項	
特に配慮した事項				